

No7：県産酒と観光 積極PR

「日本秋祭 in 香港」は、毎年10月から11月を中心に、香港で映画や芸術・工芸、スポーツ、飲食などの日本関連イベントを集中的に行う催しである。

2016年以来、今年は9回目の開催となる。開催趣旨は香港への感謝を示すとともに、香港の人々に対して日本の魅力をもっと知ってもらい楽しむ機会を提供することであり、10月中旬時点で既に90のイベントが登録されている。

中でも特に大きなイベントの一つが「踊ろう！秋祭り 2024」だ。これは香

港で日本料理店の支援を行っている団体「香港日本料理店協会」が毎年主催しているイベントであり、今年は10月12、13日の両日、銅鑼灣（コーズウェイベイ）のビクトリアパークで開催された。

会場には鉄板焼き、から揚げ、ラーメンといった食事ブースのほか、ビールや焼酎・泡盛を使ったカクテルなどのアルコールブース、日系メーカーの食品小売り販売ブースなどが立ち並び、日本の縁日を思わせるような雰囲気醸し出していた。

栃木県香港事務所もブースを出し、県産酒と観光のPRを実施した。日本酒はもちろん、ユズ酒、梅酒、いちご酒といったリキュール類、香港限定販売のジュレ酒や熟成酒など、バラエティー豊かな県産酒を用意し来場者に振る舞った。気温が30度に達したこともあり、特に冷えたリキュール類が人気を博していた。

2日間とも多くの来場者が訪れ、思い思いにイベントを楽しんでいた。夕方からはイベントの目玉となる盆踊りが始まり、東京音頭、炭坑節といった曲が流れると、会場の中心に設置されたステージ上で浴衣を着た踊り手達が踊り出し、次第に全体を巻き込んで大きな盛り上がりを見せていた。

親日家が多いと言われる香港だが、それもこれまで日本と香港が培ってきた様々な交流の歴史があるからこそだと感じている。香港で暮らす多くの方々が、これから先も日本、特に、栃木県に対して親しみを抱いていただけるよう、栃木県出身者としてさらなる交流とプロモーションに取り組んで参りたい。



【香港で行われた盆踊り＝10月13日、銅鑼灣のビクトリアパーク】

（県香港事務所長 卯木啓之）